

RIDING EYEWEAR

Ride/Ride2.0/Ride Evo

made in Japan

美しく機能的に進化した道具をもって

バイクをコントロールし

自然と一体化できた時に感じる

あの瞬間、素晴らしい感覚。

多くの方にそのフィーリングを

体験してもらいたい。

さあ、
走りに行こう!!



Ride | 一般的な日本人男性のサイズ (ヘルメットMサイズ以上)



Ride2.0 | 一般的な日本人男性のサイズ (ヘルメットMサイズ以上)



Ride Evo | 小顔の日本人男性、女性サイズ (ヘルメットMサイズ以下)



Hikari of hope project
大久保光選手
Signature Model

QUALITY | 1

視野が広がり、より鮮明に!

乗車姿勢を取って上目づかいをしようと、フレームが視界に入ってきて死角が多くなってしまふ普通のメガネ。対してRideは、前傾になった状態でも見えるようにレンズの角度や位置を計算した状態で作られており、まるでメガネをかけていないかのようなクリアな視界を実現。



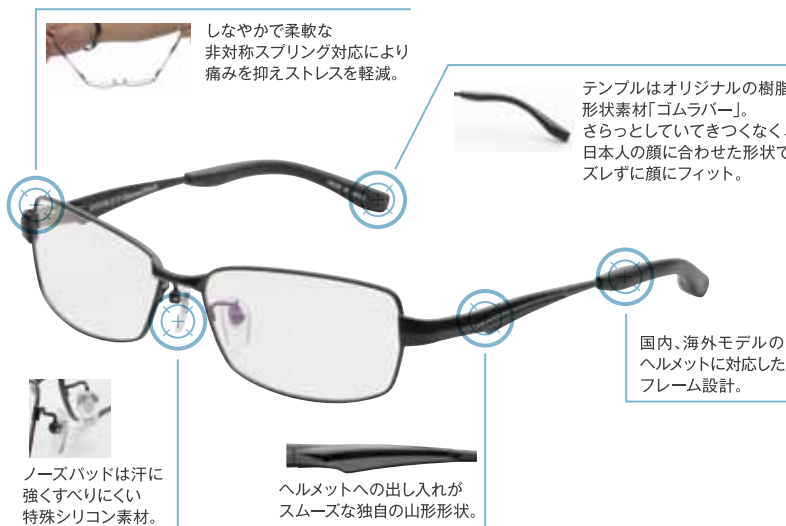
Before
セルフレームのメガネの場合、汗などですれやすく「鼻メガネ」状態になってしまう。これでは前方が見えにくい。

After
バイク用に開発されたライディングアイウェアは、レンズ部分が顔にフィットしズレもない。フレームで視野が邪魔されることもなく、上目づかいも可能!

QUALITY | 2

装着しやすく、耳が痛くなりにくい

テンプル部分はヘルメットの内装との干渉を軽減させるため山形形状を採用している。フレームとツルの接合部分は非対称スプリングを使用し、装着時の圧迫感を軽減してくれる。



QUALITY | 3

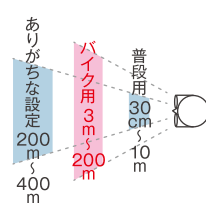
中～遠距離がより見やすく

ライダーは速い速度で走りながら、ワインディングや高速道路の道路標識や案内板、信号などを見極め、情報を得ている。Rideは「中～遠距離を見る」ことを考えられて作られているため、それらの識別が非常にスムーズ!



COLUMN

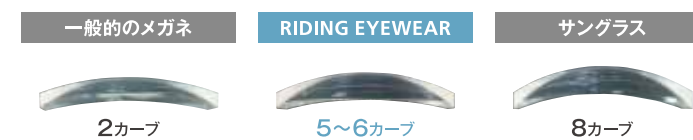
日常生活にはスマホの画面を見たり室内のものがよく見えるようにレンズを処方するのが一般的だ。一方、バイクに乗ることを考えると、かなり遠くが見えるように処方されることが多い。しかし、バイク用として考えるなら実は標識や信号機といった状況把握が大事で、よく見えるようにする距離はそれほど遠くにしなくてもいい。



QUALITY | 4

度付きレンズは車種や走行シーンに合わせた特注制作

RIDING EYEWEAR は当店独自に集計したデータで日本人のフェイスラインに最適なカーブレンズを使用。特注の度付きレンズはワンオフ制作でクリアレンズ、偏光レンズ、調光レンズはもちろんのこと遠近両用レンズの制作も可能。



※度付きレンズ等は別途料金がかかります。
レンズの種類や度数によってレンズ代金が変わるため、お問い合わせ下さい。

SET PRICE

RIDING EYEWEAR Ride / Ride2.0 / Ride Evo



¥20,000_{+tax}
※度付きレンズ等は別途料金

> セット内容
フレーム、メガネクロス、メガネケース